

I・Five通信

令和2年
7月~9月

2

2020年、世界を震撼てしま、に場合入院あるいは
させた未知のウイルス 医師の診断のもと自宅療養
コロナウイルスは今もなお人類
を脅かしています。

当初は中国から始まり武漢
ウイルスと呼ばれ日本をはじめ
世界中でまさかここまで感
染が広まるとは誰も思いも
しなかったでしょう。どの国も
治療薬やワクチンの開発に
取り組んでいます。それには
まだ時間を要するようで終
わりが見えない日々が続いて
います。

自

覚症状がなく感染し
ている例も報道されて
います。一方、コロナに感染し

必須となり、人とは一定の距離
をあける、手洗い・消毒はこまめ
に行うなど、またまたこのよう
な場合、どんな備えがある
生活は続くことでしょうか。

一体どれがこんな世界を予想
できたでしょうか。
最高30万円を一時金で受け取
れる医療保険や比較的軽度
の障害でもその状態が続く

数カ月前からすると全く信じ
られぬことが今まさに私たち
の暮らしの中で起こっています。
収入保障保険などがあり
ます。

と

ところでコロナウイルス
以外の病気やケガの
今回のコロナウイルス騒動で
ご自身の保険についてお考え
にいられた方も多くいらっしゃる

生活習慣病の代表格として
がんや心筋梗塞、脳卒中が
あります。これらの病気のり
そ現在加入している保険は
入院をはじめ、働けなくなると

5

宣言が解除されました
たが感染拡大は終息していません。
その中でも脳卒中の場合、退院
もうリスクについて備えが

感染拡大を抑えるために私たち
の生活スタイルはがらりと変わり
ました。外出時のマスク着用は
働けなくなると可能性があり
てしま、働けなくなるとも
できていのか、今一度確認し
ておきましょう。